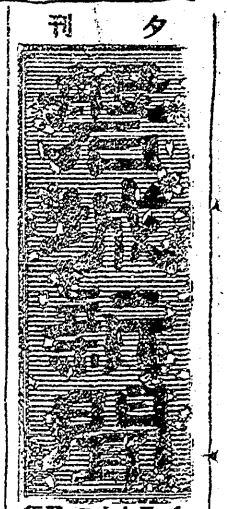
夕刊
八月廿六日發行
東京朝日新聞社會部



良寛雜記（一）

荒谷雲秀

（一）

私は良寛宗である。良寛宗といふのは、良寛宗の信者であるといふ意味であるらぬと思ふことがある。尤良寛と同じ曹洞宗の僧侶であるといふのではない。勿論さうだが、それは殆どないがそれなりに、見ていあらう。しかし歌も好きだ。書も好きである。好きで多く見れば、そこに批判も生れる。私は歌もさうだが、書を見ると、一應は感ずる。いいところがあると思ふ。それは映畫を（主に日本映畫だが）見て鳥鹿にされたやうな氣がするのとは違ふ。が、感ずるあたりから、もう少しことを、と注文が出たりこれではどうも、と呆れたりする要するに、いつまで見てゐてもいいものは、少ないのである。

私は島田氏の書を知らなかつた時分、一徹な性質と見わたして歩きながら、「いたすら者は居ないかナ、居ないかナ、石見銀山ねずみ捕り、いたすら者は居ないかな」

大變は苦い顏をして、「オイ爺さん、屯所へ行くまでは默つてゐナ」

「然うでないよ、俺はこれを買ふが家業だ、いたすら者は居ないかナと呼びながら歸つて行く

補鼠劑を買つてゐた老爺は大澤巡太郎に引立てられて猿屋町の屯所へ行く、幅棹を杖にして天王橋を後に

「恐ろしい爺いだナ」

「イヤ有難う、品物を買つてくれゝばお客様だ」

と鼠捕りの爺は二タ袋買つて居る。

「然うだ守田座へ出ねゐる役者のおくりだ、シムそれで判つた、さう／＼此人は昔はこれで弘法安と云へば江戸の盛り場は勿論田舍の高方へ行つたとてもお仲間買ひに來た、馬喰町で買つて知らねゐ者は無ね、白のねずみ捕りは効かねゐか行衣を着て黒塗の笠を冠り

「それがの、ねずみばかりぢ石になつてしまつた、さア婆さんは吃驚して、御出家様お許し下さい早速畑か

「粗忽な奴だナ、人間に食ふ芋を掘つて來て弘法様に

「恐ろしい爺いだナ」

「イヤ有難う、品物を買つてくれゝばお客様だ」

と鼠捕りの爺は二タ袋買つて居る。

「然うだ守田座へ出ねゐる役者のおくりだ、シムそれで判つた、さう／＼此人は昔はこれで弘法安と云へば江戸の盛り場は勿論田舍の高方へ行つたとてもお仲間買ひに來た、馬喰町で買つて知らねゐ者は無ね、白のねずみ捕りは効かねゐか行衣を着て黒塗の笠を冠り

「それがの、ねずみばかりぢ石になつてしまつた、さア婆さんは吃驚して、御出家様お許し下さい早速畑か

「粗忽な奴だナ、人間に食ふ芋を掘つて來て弘法様に

差し上げた所で石に變化た芋は醫病の靈藥にして盜はすと申され眞言秘密の法を「一體誰が食はしたゞ、雷門施された世に尊い數少なき物である……」

探索係の大澤も呆れて「何を喋つてゐるンだ、早く歸るが宜い」

「歸るから暇ツ潰しをさせた埋合せに捕鼠劑を買つてくれ」

「大變な爺だナ、二袋ばかり置いて行け」

「さうか一袋百五十文（一錢五厘）にまけてやる、三者ぢアねえ、自宅には米を喰ふ虫が居らア」

「屯所へ來て儲けて行くに手前ばかりだ……」

「當所には大分犯罪人があるだらう、其奴の辨當にこ

を變せて食はして見ろ」

つたのだが、たま／＼入手出來る機會にあつた。これは全く敎學新聞のおかげである

△フイデリック大王崩ず（一七八六）△熊襲葛山殺す（元錄四）△東京府廳開始（慶應四）

8月17日

ウナの秘訣

○

神様を拜む前に自分を正しくせよ　西洋俚諺

夏日雜詠

新妻　爽

○定まらぬ蚊帳かも疑惑より醒めて枕邊の障子を開く

○日燒せし顏よ裏白なる服よ從弟は生きて今歸りたり

○田舍初段の將棋とは吾歌の評なり推肥積みつゝこだはり思ふ

○立ち停り見上ぐる蟬のかしましお本肌荒れたる柳の大樹

夜嵐お絹

［148］悟鐘軒國玉

筒井亟衛畫

弘法安

捕鼠劑を買つてゐた老爺は大澤巡太郎に引立てられて猿屋町の屯所へ行く、幅棹を杖にして天王橋を後に

「いたすら者は居ないかナ、居ないかナ、石見銀山ねずみ捕り、いたすら者は居ないかな」

大變は苦い顏をして、「オイ爺さん、屯所へ行くまでは默つてゐナ」

「然うでないよ、俺はこれを買ふが家業だ、いたすら者は居ないかナ、石見銀山ねずみ捕り……」

と呼びながら猿屋町の屯所へ來た、大澤の案内で探索部屋に通るスルト大澤が

「こゝに待つて居ナ、お前に見せる者がある」

と云ひすてゝ行つたが、しばらくすると三十四五のヨボ／＼の派手な浴衣を着た男を伴れせて來て

「オイ爺さん、此の人を知つてゐるかえ、ねずみ捕り御用のお客だ」

問はれて老爺はジロ／＼見てゐたが、

「然うさな、毎日藥を買つて居るから一ケ買つた人を覺ねで居ねゐが、此人の顏は見た事がある」

「嘘ばつかりでやるとは何ンだ、其奴の辨當にこ

重田眼科

眼科專門
眼鏡檢定

平驛前
重田醫院

亡直衛儀新盆の處提灯其他供物一切御辭退申上度此段謹告候也

昭和十五年八月

平市播磨小路
長瀨卯太

紫山流盤景陳列

宗家小松粲雨先生來平指導

弊社中より受講者數名師範免許受領披露のため

一期日　八月「七、十八、十九三日間
（盆十四、十五、十六日）

一場所　平市三丁目丸又方

高橋昇山社中

社員招聘

一、事務所主任　若干名
二、外務社員　若干名

今回業務擴張ノ爲メ石城部、双葉部、相馬部內數ケ所ニ事務所ヲ新設ス
年令ノ如何ヲ問ハズ身体强健ニシテ業務ニ熱心ナル（經驗ノ有無ヲ問ハズ）男女ヲ採用ス
給與、其ノ他詳細ハ面談ノ上（特ニ旅費手當支給ス）希望者ハ履歷書持參當所張所ニ御來訪ノコト

平市南町四五（平郵便局裏通り）
片倉生命保險株式會社
平出張所

國は二ッポン・魚は淡魚

日本水產特約
御小賣　平屋氷會社
（電三二・三二番）

ヒマル淡魚

タ　ヒ　甘　鯛
エ　ビ　マ　ナ　鰹
白　魚　帆立貝柱
冷カツノコ　ウニ貝燒

平代理店　四丁目
魚河岸　二八番

配達ハ一尾一箱ヨ
迅速ニ致リマス。

化學が生んだ物理療法

最新式の器械を設置致しました、皆樣の內には樣々の御病氣でお苦しみの方も又は樣々の治療を加へても更に治せざるお方も御座いませうからお試しに病院へ御出で下さい。治療料は至極低廉、遺家族は特に割引す、貧困者は實費又は無料

難病磁氣療法

適應症

高血壓症　中風　呼吸器病　胃腸病　心臟病　脚氣　疼痛　神經病　泌尿器病　生殖器諸症　ロイマチス　婦人病　蓄膿症　喘息　小兒虛弱體質　其の他

醫學界の大家推奬

東京帝國大學醫學部醫長　眞鍋嘉一郎先生
村上病院長、醫學博士　村上幸夫先生
佐多病院長　醫學博士　佐多芳夫先生
藤山常一博士發明
世界七ケ國特許

マグネタイザー
磁氣療法

毎日（午前八時より午後六時まで）

百聞は一見に如かず物理療法を試みよ

治療所
平市驛前田町（平市役所通り）

シンガーミシン內（二階）
物理療法磁惠院

◎難病にて苦しみの方は一日も早く試みよ

磐城の御みやげ品

改め靈峰羊かん
名物　みやま羊羹（名產梨かん）
赤井嶽、二ッ箭山、山祇神社參詣土產！
姉妹品

磐城耶馬溪……美山羊羹
同　七濱……のり羊羹
同　豐間……辨天羊羹

小川鄕驛前
製造販賣元　平屋賣店

內臟科

內臟外科
腦脊髓病科
外科

整形外科

整形外科
レントゲン科
理學療法科

醫學博士　松村亨

胃腸病

內科
胃腸病科
肛門病科

性病

花柳病科
皮膚病科
泌尿器病科

醫學博士　松村鐵郎

平市南町
電一〇七
松村醫院

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品

平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイプトスヒイタ發賣所
森藤
電話三七〇〇番
振替仙臺五一番
（臨業事務用器商會）

開院

外科一般
內臟外科
整形外科
肛門病科
性病科
レントゲン科

平市南町（平郵便局本局裏通り）
上田外科醫院
院長　上田耕作
電話一二九番

小瀧礦泉の

涼味是非御出で下さい

經濟指定旅館
創業　小瀧

電話小名濱一〇三

聖戰二年感激も新に
在天の各雄魂を弔ふ
昨日平市で戰歿勇士慰靈祭

市銃後奉公會主催の金成龜太郎中尉以下市出身今事變戰歿勇士に對する慰靈祭は、既報の通り昨十五日午後一時より市公會堂に於て導師市內九品寺住職遠藤心光師以下の僧侶により行はれた

開辭（伊藤助役）讀經、追悼文朗讀（青沼市銃後奉公會長）燒香（全遺族各種團体代表）謝辭（金成遺族代表）閉辭（四家市兵事課長）

の順序で三時式を終つたが今や聖戰三年有餘、全東亞安全圈の確立が倍々强調されつゝある折柄、尊い護國の礎となつた各英靈に對するこの祭式は時局柄一入の感激裡に終始し、參列者一同をして衷心非常時意識を昂揚せしむる處あつた

鑛山野庭球爭覇
三大炭礦選手出場
明日から熱戰譜展開

第八回東北鑛山野球・庭球大會は既報の如く十七、八の兩日仙台市澁橋球場、二中球場及び帝大法文コートで擧行されるが第一日組合せは次の如く決定した

△野球

〔澁球場〕

1好間炭礦—日石鑛業所
2、入山炭礦—細倉鑛山
3、1の勝者—花岡鑛山

〔二中球場〕

A 尾去澤鑛山—田中炭礦
B、磐城炭礦—小坂鑛山
C、Aの勝者—松尾鑛山

△庭球

〔A 班〕

磐城高玉、尾去澤花岡
松尾 磐城、高玉 尾去澤
花岡 松尾、磐城 尾去澤
高玉 花岡、尾去澤 松尾

〔B 班〕

花岡—磐城、松尾—高玉
日石—細倉、大貫…赤井
田老—日石、細倉—大貫
赤井—田老、日石—大貫
細倉—赤井、大貫—田老
赤井—日石、田老—細倉

〔C 班〕

小坂—入山、吉乃—釜石
好間—小坂、入山—吉乃
釜石—好間、小坂—吉乃
入山—釜石、吉乃—好間
釜石—小坂、好間—入山

殘炎ものがたり……
今年度簡閲點呼に備へ
昨日から補充兵猛訓練

既報平市では來る二十日午時間の執銃敎練に炎暑を克前八時から平商業學校庭で服、好成積裡、第二日の今執行される今年度簡閲點呼十六日を迎へ愈〻いよ〻切に備へ昨十五日から在鄕軍人聯合分會に參集

第一小學校、平商業、第四小學校

の三ケ所で豫習敎育を開始したが戰時下軍の意氣を遺憾なく發揮して敎ふるもの敎へらるゝもの一心同体の熱心さで午前八時から二時間の學科、十一時から五時に大きな期待がかけられてゐる

更に六勇士
宜昌戰の華

地方出身の立花部隊左記勇士は宜昌攻略戰の華と散つた旨原隊から發表された

△伍長湯本町八島忠勇、上等兵市內宮貴內福田光雄、小名濱町木下利一

諸橋上院議員南洋へ
廿三日長崎出發

る南洋諸島視察團十一名中に加はり二十二日午後三時東京驛發二十三日長崎出帆の郵船加茂丸で出發するこ

玉川村大竹正重
△上等兵市內宮貴內福田
光雄、小名濱町木下利一
玉川村小野光、大野村草野正之

上院議員諸橋久太郎氏は前田利爲侯を團長とす

お台所の脅威薄らぐ
平署が頓に監視し初めた野菜類に
近く全國的値下げ斷行

なるものと豫想さるる一面生鮮食料品全部に及ぶものこの方針は遠からず魚類等と看取される

賑ひにも愼しみ
ジャンガラや踊りに
浮かれ心に法度氣分

英靈を加へて感激殊に深い最小限度を確立すると新發足る丈の物辦退や諸節切り詰めらるる略を斷行し、戰時下のお盆風景は至る處にその緊張振りを見せ、之に因て生じた冗費の節約は全面的に觀て蓋し頗る大なるものと想像されるが、一方ジャンガラ念佛、盆踊りなど盆の夜の街に情趣を添ふる傳統的諸行事は銃後の愼みを破らぬ程度に行はれ今年も十五、十六の兩夜なども各地在から入り込むこれらの幾組かに冷涼の夜を賑はすものと觀られてゐる

農家の借金調べ
―力强い銃後の緊張―
平と四倉で調査

最近農村の好況を一戶平均額を調べ上げ昭和反映して産組貯蓄十年八月末日現在と對比し增加する一方貸て整理の狀況を研究するが出が減じてゐるの調査すべき部落の選定は市は舊債償還を物語る町當局に一任、大体三十戶を一單位とする

縣では事變以前の農民一人平均負債額千七十圓が現在は七百圓台に減じゐるものと見て居り、特に完全に除かれることになり折柄、昨十五日開かれた內閣商工省物價局の價格形成委員會で果物十六種、野菜二十四種の四十種類につき直接消費者の手に渡る最高小賣價格を公定し現在から二割乃至五割値下げを斷行、二十一日頃官報を以て告示の上全國的に實施さるる事となつたので低物價政策に背反する天井知らずの高値一、十二日以降十五日（舊十、十三日）迄の平局に於に殘されたお台所の脅威は一掃されることゝなり完全に除かれるこれ

少く出して多く取る
昨今兩年を比べた盆前の金の働き
平局の窓口に時局色

盆前の金の動きに就き這般の消息を物語る最も正確な二十一日頃官報を以て告示の上全國的に實施さるる事となつたので低物價政策に三日以降十五日（舊十、十二日）迄の平局に於お台所の脅威は一掃されることゝなり窓口現金事務を開くと（括弧內は昨年八月二十四、二十五、二十六日＝舊十、十一、十二日分）

爲替振出し二三三口五、七四四圓九一錢（二五七口八、七〇五、五一）

同拂戻し二八六口一六で爲替は地方民の金を減受取り分が殖ゑ貯金も預入激增、拂戻し減少と云ふ風に昨年と比べると實に行つた來た程の時局的變化を見せてゐる

一、一四二、四一（三一三口二二、二八七、九〇）

御奉公の誠を致し
目的達成に邁進せん
平市出身 吉野登君（通信）

謹啓炎暑の候皆々樣には積勵益々御清勝の段大慶由上候に新秩序着々進捗しつゝ有之候。爾後一層御奉公の誠を以て益々健にて軍務に酷暑の折柄何卒御自愛なされ度皆々樣の御健勝の程お祈り致し居り候。尙は留守中は何分共宜しく御願申上候。

銃後の御厚情に御禮旁々遺憾なく發揮して敎ふるもの敎へらるゝもの一心同体の熱心さで午前八時から二時間の學科、十一時から五時に大きな期待がかけられてゐる

無爲を恥づ
平市出身 丹野勝榮君

謹啓酷暑愈〻募り來て茲に事變四年の夏を迎へるに當り諸般益々多端ならんとする秋愈〻御清祥の段大幸の至りに存じます、就きましては此度御書簡並に御慰問品の數々頂だい重ね〳〵御芳情只々感泣の外ありません。不肖私も出陣以來すでに×年貴下の御期待にも叶はず只無爲の日をのみ送つて參りましたる事を誠に恥入る次第でありますが幸に

軍務に精勵
青天白日信吾君

謹啓過日は御叮重なる御慰問品及び御問文を下され深く御禮申上げます。お陰樣にて以來元氣にて軍務に精勵致し居ります故憚り乍ら

慘！月下に彩る鮮血
內鄕座見物中の些細な縺れから
青年坑夫三名相手の若者を殺傷

昨十五日午後九時半頃內鄕村昭和鑛業綴工場附近道路の暗がりに異樣の呻き聲あるを耳にした通行人が近よつて見ると紅に染まつた二人の青年が一人は左頸部を斬られて既に絶命し、他の一人も腹部を斬られて虫の息となつて居るのに吃驚直にその筋に急報係官が出張取り調べの結果、件の青年は

（即死）同村六字白水字笹井場磐炭製作所職工有賀時明（二九）

（重傷）同比佐綴雄（二八）

で兩人は同夜八時頃內鄕座で映畫見物中隣り合せた三人連れの若者と些細の事から口論の末一緒に同所を出た事實判明加害者は適切りそれと目星をつけ非常線を張つて張り込み中、同十一時頃同村御厩地內で三人の男を乘せ平方面に向ふハイヤーを發見した馬場二作、星登田岡巡査が取り調べた處最初は「鎌田遊廓へ行くんだ」と白を切つたが顏面の傷などで隱し切れず直に平署に連行された。右は

同村大字白水字川平川平寮坑夫村山博（二〇）井上敏夫（二〇）同長屋居住清水字一（二〇）

で何れも月下に匕首を閃かしたその兇行を自白、事件後一時間餘にして同署捜査陣に凱歌が上つた。拜命間も無き殊勳の二警官は其筋に表彰方を內申さるる模樣

殘炎甚しき折柄謹で前線將兵と銃後各位の御健康を祈上候

貴族院議員 諸橋久太郎
福島縣會議員 關內正一
福島縣會議員 赤津庄兵衛
福島縣會議員 木村守江
福島無盡金庫 湯本支社
磐城水產工業株式會社
銘酒「白取の雪」釀造元 松本德一 平市平鎭 電話二八五番
平市會議員 佐藤幸太郎
平市 工藤鑄工場
平看護婦會長 清野きよ
郡山無盡株式會社 平出張所
保證責任 平市板金加工組合 平市大町四三 電話七七三番
保證責任 石城製靴工業組合 平市商町一九 電話七七五番 理事長 栗原森之助
福島縣平市中央通り 西洋料理 金春 高崎松三 電六六六番
合資會社 井尻雅國商店 平市銀治町九番地 電話五二二
福島縣會議員 平市會副議長 蓮沼龍輔
平市宇佃町三番地 保證責任 平木工家具建具工業組合 電二五三番 七七四番
祠殿莊嚴神德崇 園林泉石自然々 如雲來聚幾多客 偏禱皇軍武運盛

新暦八月 七日 土曜日
旧暦七月 十日 壬辰 友引 四日 成宿 日

天氣豫報
今晚 南の風晴れ後曇り
明日 南西のち南東の風驟雨模樣